

## 平成29年度進捗評価シート

### 添田町歴史的風致維持向上計画(平成26年6月23日認定)

(最終変更 平成27年3月27日)

#### □進捗評価シート(様式1)

##### ①組織体制(様式1-1)

- 1 法定協議会及び支援連携体制について . . . . . 1

##### ②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)

- 1 添田町都市計画審議会の設立 . . . . . 2

##### ③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)

- 1 添田町歴史的文化遺産活用まちづくり基本構想改訂支援事業 . . . . . 3  
2 案内板等整備事業 . . . . . 4  
3 眺望広場整備事業 . . . . . 5

##### ④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)

- 1 英彦山神宮参道保存整備事業・英彦山神宮参道修景整備事業 . . . . . 6  
2 中島家住宅保存修理事業 . . . . . 7  
3 普及啓発イベント事業 . . . . . 8  
4 民俗芸能文化財等伝承支援事業・まちづくり団体育成支援事業 . . . . . 9  
5 まちづくり団体設立支援事業 . . . . . 10  
6 児童・生徒に対する意識向上推進事業 . . . . . 11  
7 史跡英彦山保存活用計画策定事業 . . . . . 12  
8 国指定重要文化財 中島家住宅の工事見学会の開催 . . . . . 13  
9 地域住民による国指定重要文化財 中島家住宅の庭園草刈り業務 . . . . . 14

##### ⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)

- 1 まちづくり講演会 など . . . . . 15

##### ⑥その他(効果等)(様式1-6)

- 1 普及啓発イベント事業 . . . . . 16

#### □法定協議会等におけるコメントシート(様式2) . . . . . 17

評価軸①  
組織体制

項目	評価対象年度	平成29年度
法定協議会及び支援連携体制について		現在の状況
		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 本計画の推進、実施にあたっては、計画策定時同様にまちづくり課文化財係が事務局を担い、歴史まちづくり法第11条に基づく添田町歴史的風致維持向上計画推進協議会において計画推進や計画変更、円滑な事業の実施に向けた協議を行い、事業を推進することを基本とする。  
 計画の推進や事業の実施に際しては、国や福岡県の指導を仰ぎながら、庁内の関係各課との連絡調整を行いつつ、事業対象となる文化財の所有者や周辺住民等と協議の上、一体となって事業を推進する。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

法定協議会である「添田町歴史的風致維持向上計画推進協議会」を、平成30年3月22日に開催し、平成29年度の実施事業の進捗及び平成30年度の事業計画について報告を行い、委員からの意見を聴取した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



開催回	開催日	主な議題
第9回	H30.3.22	○平成29年度実施事業の進捗管理・評価について ○平成30年度実施計画について

評価軸②

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	

添田町都市計画審議会の設立

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

本町の都市計画区域は、東側に位置する津野地区を除く地域が指定されているが、都市計画区域内であっても、区域区分や用途地域は定めていない。  
 本計画における「英彦山区域」と「添田本町等区域」の二つの重点区域は、都市計画区域内に含まれており、都市計画区域マスタープランにおいて、英彦山区域は「緑とレクリエーションの拠点」として、添田本町等区域は「田園集落ゾーン」として位置づけられている。  
 これからも都市活動と調和を図りながら歴史・文化を活かしたまちづくりを進めていくため、住民等への都市計画の普及・啓発を図りながら、地域の実情に応じた土地利用の規制導入に関する検討を行い、歴史・文化を活かしたまちづくりの推進を図る。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

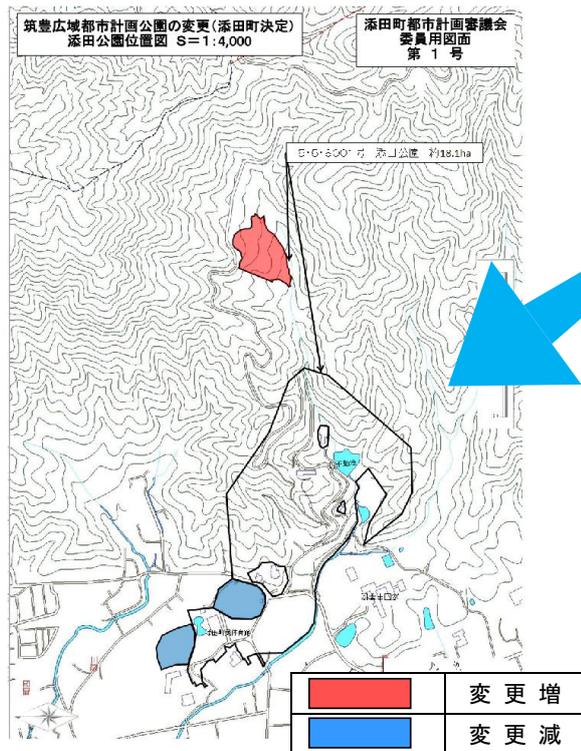
添田町都市計画審議会を平成30年2月13日に設立し、引き続き第1回審議会を開催し添田本町等区域内の都市計画区域変更について審議した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



第1回 添田町都市計画審議会 (H30.2.13開催) 資料より抜粋



第1回 添田町都市計画審議会 (H30.2.13開催) の様子

添田本町等区域内(添田公園付近)の都市計画区域についての変更を審議した。  
 (変更増:1ヶ所、変更減:2ヶ所)

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
添田町歴史的文化遺産活用まちづくり基本構想改訂支援事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度

支援事業名 文化遺産総合活用推進事業(歴史文化基本構想改訂事業)

計画に記載している内容  
 基本構想は、町内各地に眠る数多くの歴史文化遺産を掘り起こすとともに、町内外で既に評価されている豊かな自然や歴史・文化を活用することにより、町の活性化を図ることを目的としている。この実現に向けては、従来から取り組まれている文化財保護法等に基づく指定文化財の取組みとともに、未指定の歴史的建造物の保護や伝統的な祭り行事、産業を今後も継承し、これらの歴史・文化的資源を積極的に活用することが求められている。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

平成23年度に添田町が独自事業で策定した「添田町歴史的文化遺産活用まちづくり基本構想」を国が事業認定する「添田町歴史的風致維持向上計画」のマスタープランとしてあてたが、平成24年2月に文化庁が示した「歴史文化基本構想技術指針」に定めている事項の項目立てとなっていないため、抜本的な改訂を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

添田町歴史的文化遺産活用  
まちづくり基本構想  
目次

はじめに

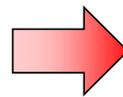
[目的]

[構想策定に向けた基本姿勢]

[添田町歴史的文化遺産活用まちづくり基本構想の構成]

- ① 英彦山門前町及び周辺まちづくり構想
  1. 英彦山門前町の概況
  2. 英彦山門前町のまちづくり基本構想
  3. 英彦山門前町のまちづくり実施方針
- ② 旧小倉街道町並みまちづくり構想
  1. まちづくりの方向
  2. 旧小倉街道の文化遺産とまちづくり課題
  3. 歴史文化軸づくり基本方針
  4. 拠点整備の方法
  5. まちづくりの展開
- ③ 添田町歴史的文化遺産活用まちづくり基本構想の推進体制と推進プログラムの設定
  1. 添田町歴史的文化遺産活用まちづくり基本構想の推進体制
  2. 添田町歴史的文化遺産活用まちづくり基本構想の推進プログラム

平成24年3月に添田町が独自事業で策定した構想の構成立て



(改訂)添田町歴史的文化遺産活用  
まちづくり基本構想  
目次

- 第1章 基本構想の目的、位置づけ
  1. 基本構想の目的
  2. 基本構想の位置づけ
  3. 基本構想の対象地
  4. 基本構想の構成
- 第2章 地域の歴史文化の特徴
  1. 自然的環境
  2. 歴史的環境
  3. 社会的環境
  4. 歴史的文化遺産の整理
- 第3章 歴史まちづくりの基本的な方針
  1. 歴史まちづくりの現状と課題
  2. 歴史まちづくりの目標
  3. 歴史まちづくりの方針
  4. 本町の関連文化財群
- 第4章 歴史まちづくりの進め方
  1. 歴史文化保存活用区域
  2. 保存活用計画

文化庁が示した「歴史文化基本構想技術指針」に基づき今回改訂した構想の構成立て

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
案内板等整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～平成35年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 歴史的建造物等の資源に設置されている案内板や誘導サインのうち、経年劣化等によりその機能を発揮できていない物を除去するとともに、未設置の資源も含めてデザイン方針に基づいた案内板等を設置する。併せて、交通結節点等に総合案内板を設置する。

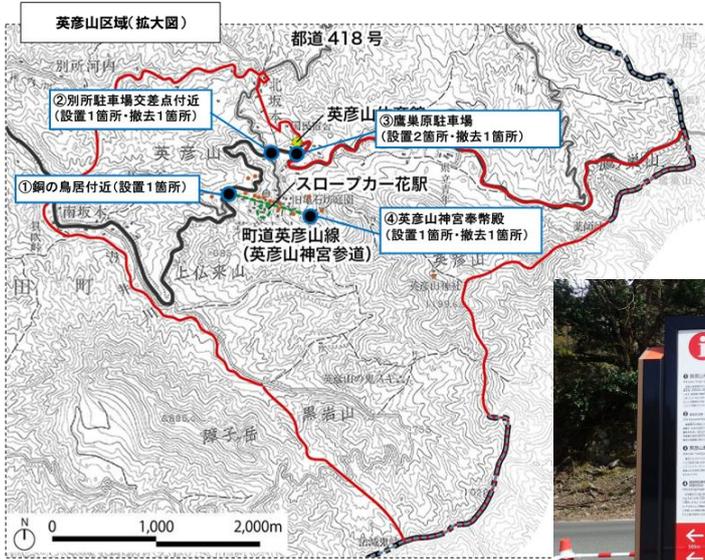
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

策定済の添田町公共サインガイドラインに基づき、英彦山区域内に、設置:5カ所・撤去:3カ所の整備を行った。(平成30年3月26日竣工)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



工事位置図(全体)



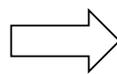
銅鳥居付近【新規設置】  
自動車誘導サイン



登山口(鷹巣原)駐車場【新規設置】  
案内サイン



【撤去】案内サイン



英彦山神宮境内



【新規設置】案内サイン

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
眺望広場整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成29年度～平成31年度		
支援事業名			
計画に記載している内容	麓から英彦山を眺望した際の景観を改善するため、現在活用されていない英彦山体育館を解体・取り壊すとともに、英彦山からの展望を望める場として、ベンチ・駐車場を整備するとともに、案内板も併せて設置する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
英彦山地区再興整備方針策定事業により策定した基本設計を基に庁内検討会議を開催し事業検討を開始したが、平成29年7月に発生した九州北部豪雨災害の影響も重なり、JR日田彦山線の一部運休や近隣宿泊施設の休業等、当事業を取り巻く環境が激変し、眺望広場を核とした一体的な観光客の誘客も含め基本設計とは異なる状況となり、新たな検討事項が生じた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	眺望広場を核とした一体的な再開発が基本設計と大きく異なる状況となったため、引き続き庁内検討会議を実施し来年度以降の事業実施の可否も含め再検討する。		

状況を示す写真や資料等



庁内検討会議の様子



平成29年7月に発生した九州北部豪雨災害

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
英彦山神宮参道保存整備事業 英彦山神宮参道修景整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

【英彦山神宮参道保存整備事業】町道英彦山線である英彦山神宮参道について、石段や石垣、石塔等の工作物は、歴史的風致形成建造物に指定した上で保存整備を行う。また、これらの工作物の保存に影響を及ぼす参道沿いのツツジ等の低木や宿坊跡の山林等の除去を行うとともに、石垣等を眺められる小広場の整備を行う。

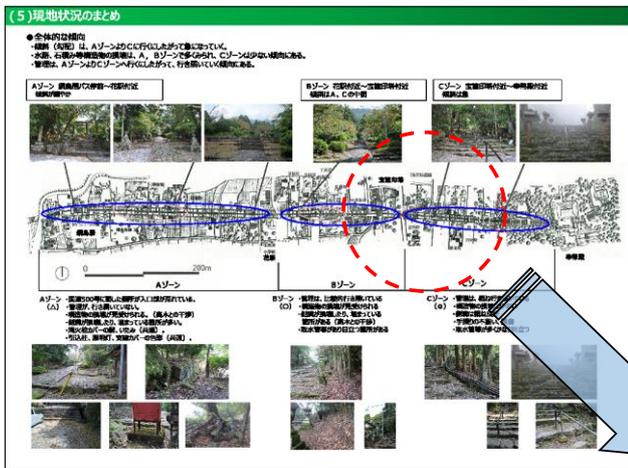
【英彦山神宮参道修景整備事業】町道英彦山線である英彦山神宮参道について、歴史的景観を阻害する水道パイプの地中化、歴史的景観を尊重した色彩・デザインを用いた消火設備に修景整備する。また、歴史的景観と調和したデザインの街灯へ順次取り換えを行う。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

町道英彦山線である英彦山神宮参道(延長約800m、高低差約180m)の保存・修景整備を実施するための測量設計を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

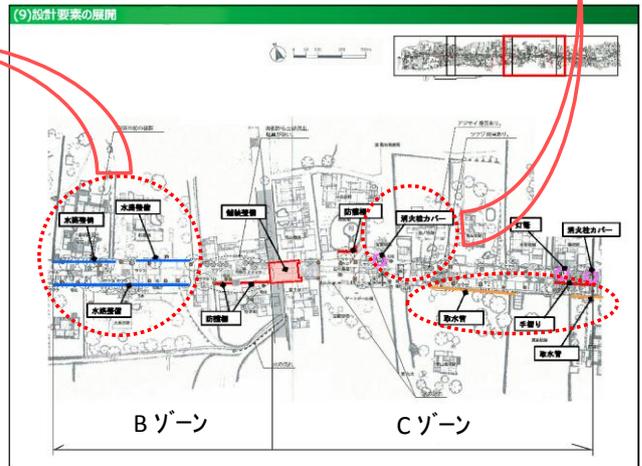
状況を示す写真や資料等



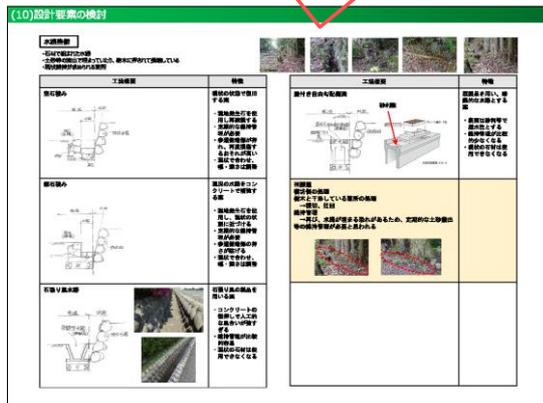
参道測量に係る現地状況の全体像



取水管対策と消火栓カバーの検討要素



設計要素の展開



水路整備の検討要素

【設計概要書】より抜粋

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
中島家住宅保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	重要文化財に指定されている主屋の保存修理を実施する。また、耐震診断を実施の上、必要に応じて耐震補強を実施する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
全国の重要文化財等の保存修理工事の設計監理を担っている「公益財団法人 文化財建造物保存技術協議会」と委託契約を締結し、主屋に覆屋を設置し、建造物調査とともに解体作業（屋根瓦、壁、床等の除去）を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財建造物保存技術協議会による調査結果及び文化庁の指導により、地盤沈下に伴う建物の歪みが想像以上に大きく根本的な修理が必要なが判明した。工期に相当期間を要するため、今後、計画の延長等を検討していく。		
状況を示す写真や資料等			



覆屋に囲まれた主屋



文化庁の現地指導(H29.12.21)



主屋(おみせ部分)の解体

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
普及啓発イベント事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容  
 本町に点在する歴史文化遺産を活かしたまちづくりや歴史的風致維持向上計画の推進のため、勉強会や講演会等の普及啓発のためのイベントを開催する。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

「文化遺産を活かした地域活性化について」をテーマに、株式会社小西美術工藝社のデービッド・アトキンソン代表取締役社長による歴史・文化を活かした“まちづくり”講演会を実施した。（平成29年6月24日開催、参加者：約350人）  
 また、当日は山本幸三地方創生担当相（当時）や武田良太衆議院議員も駆け付け「まちづくり」について語った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

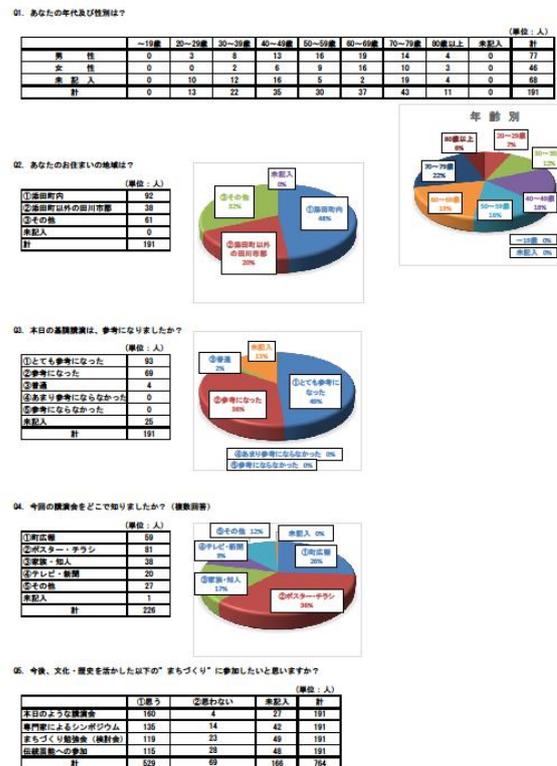


講演するデービッド・アトキンソン氏



聞き入る参加者たち

『歴史・文化を活かした“まちづくり”講演会』（平成29年6月24日開催）  
 来場者アンケート結果



来場者アンケート結果

まちづくり講演会の様子

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度
		現在の状況
民俗芸能文化財等伝承支援事業・まちづくり団体育成支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

【民俗芸能文化財等伝承支援事業】神幸祭等の祭礼や神楽等の伝統芸能を行っている活動団体に対して、活動の維持や後継者育成に資する活動経費の一部について、助成金を交付し支援する。

【まちづくり団体育成支援事業】本町に点在する歴史文化遺産を保存・活用するため、歴史文化遺産の保存・活用に係る文化財保護・まちづくり団体の活動経費の一部について、助成金を交付し支援する。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

春に、対象候補団体に対し制度周知と併せ補助金の活用を促す取り組みを実施。その後、「民俗芸能文化財等伝承支援事業」について、1団体から申請があり、後継者増への対応のための獅子舞衣装購入に係る費用の一部を助成した。なお、「まちづくり団体育成支援事業」については、申請がなかったため、交付実績はない。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	まちづくり団体育成支援事業に関しては、候補団体の事業予定がなかったため未申請となった。 来年度については「まちづくり団体設立支援事業」により設立した2団体の申請を予定している。

状況を示す写真や資料等



襷(たすき)



袴(はかま)



小手(こて)



脚絆(きゃはん)

民俗芸能文化財等伝承支援事業を活用して作成された獅子舞衣装

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
まちづくり団体設立支援事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 重点区域である英彦山区域及び添田本町等区域において、歴史文化遺産の保存・活用に係る文化財保護・まちづくり団体の設立を支援する。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

平成27年度から勉強会を行っていく中で、両区域とも気運が高まり、添田本町等区域においても、平成29年7月29日に「重文・中島家住宅推進協議会」が発足した。（英彦山区域は平成29年2月18日に「英彦山門前町同好会」が発足済。）本年度は、本事業の最終年度となるため、各組織の自主運営に向けた基盤・体制整備支援をおこなった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

重文・中島家住宅推進協議会（添田本町等区域）

開催日	内容	議題・検討事項
H29.5.17	第1回 役員準備会	・中島家工事、改修の概要説明 等
H29.6.3	第2回 役員準備会	・規約、平成29年度事業計画に係る協議 等
H29.6.25	第1回 役員・委員会	・中島家、風致地区、工事進捗説明 等
H29.7.29	設立総会	・設立総会
	第1回 学習会	・町学芸員による「中島家住宅の歴史」
H29.9.24	第2回 役員・委員会	・重要文化財の活用事例紹介 等
H29.10.28	第1回 歴史講座	・町文化財専門委員による歴史講座
H29.11.17	第3回 役員・委員会	・中島家工事に関する協議会要望 等
H29.11.25	第2回 歴史講座	・町文化財専門委員による歴史講座
H29.12.9	第3回 歴史講座	・町文化財専門委員による歴史講座
H29.12.15	先進地視察	・中津市（南部まちなみ交流館）
H30.1.26	第4回 役員・委員会	・平成30年度添田町風致関連事業計画説明 等
H30.2.17	第5回 役員・委員会	・町内他団体の事例紹介 等
H30.3.3	第2回 学習会	・町学芸員による「添田本町・下町の成り立ち」



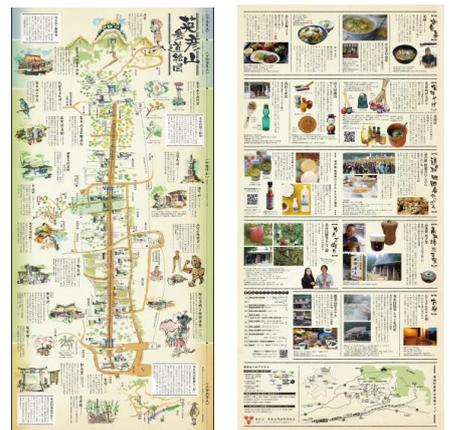
歴史講座の様子（平成29年10月28日）



先進地視察の様子（平成29年12月15日）

英彦山門前町同好会（英彦山区域）

開催日	内容	議題・検討事項
H29.6.22	事業打合せ	・平成29年度事業計画に係る協議
H29.9.2	臨時総会	・会則、役員構成の変更、平成29年度事業計画 等
H29.9.7	事業打合せ	・マップ紙面、記事に係る協議①
H29.10.12	事業打合せ	・マップ紙面、記事に係る協議②
H29.11.9	フィールドワーク	・マップ作製のための現地調査
H30.2.15	事業打合せ	・マップレイアウト作成
H30.3.1	事業打合せ	・マップデザインの確認、修正
H30.3.29	事業打合せ	・マップ完成品確認



作製したマップ（左：表、右：裏）

評価軸④-6

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
児童・生徒に対する意識向上推進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 後世への伝承者である児童・生徒に対し、町内の小・中学校と協力しながら、添田町の歴史や歴史文化遺産に関する授業に取り組むため、テキストを作成するとともに、授業への学芸員等の派遣、文化財の現地見学等の本町の歴史文化への意識向上に資する取り組みを実施する。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

町内全小学校において、社会科や総合的な学習の時間において活用された。また、活用状況や児童の感想等に関してアンケート調査(町内全小学校に対し、回収率100%)を実施した。  
 また、町内の小学校へ学芸員を派遣し、テキストを活用した講義を実施した。(2回)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

対象学年	授業内容	使った感想
3年生	町内の小学校について 受け継がれる行事 校区探検マップづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史、概要がのっているため、事前指導に活用しやすい</li> <li>・若い教師、他地域の教師が増えているため、効果的活用を進めたい</li> <li>・教科書にでてくることが、添田でもあったと知ることができ、身近な学習となるので良い</li> </ul>
4年生	鬼杉(劇) 町内のダムについて 伊原水路について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べ学習で利用しやすかった</li> <li>・添田町全域のマップがとてもよかった</li> </ul>
5年生	英彦山について(立志の道事前指導)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・字の大きさやイラストなど、3・4年生がちょうど見やすい教材</li> </ul>
児童の反応		<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝読書の時間など、授業以外でも読んでいる児童がいた</li> <li>・「添田でも～」、「添田には～」と学べるので学習へのくいつきがよかった</li> <li>・自学で利用するなど、興味をもって読んでいた</li> </ul>



小学校への出前講座の様子(平成29年10月13日)



小学校への出前講座の様子(平成30年2月9日)

評価軸④-7

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度
史跡英彦山保存活用計画策定事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 英彦山には、修験窟等の修験道に関する遺跡などが数多く点在するとともに、英彦山神宮参道には、現在も地域の人々が生活する宿坊がある他、石段や石垣、石塔等の工作物が残されているが、経年劣化による損傷が進行している。これらを後世に継承するため、本計画年度内に、文化財保護法に基づく史跡の指定に向けた調査・保護措置の検討を推進する。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

史跡英彦山の保存活用計画の策定を2か年で予定しており、本年は史跡の保護措置にかかわる専門家で構成する「史跡英彦山保存活用計画策定委員会」を設立し、平成29年12月12日、平成30年3月19日に開催した。委員会では目次案の検討を行い、第3章まで検討した。次年度では第4章以下を検討し、保存活用計画を策定する。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



第1回 史跡英彦山保存活用計画策定委員会 (H29.12.12開催)の様子



第2回 史跡英彦山保存活用計画策定委員会 (H30.3.19開催)の様子

国指定史跡英彦山保存活用計画の目次(案)

第1章 計画策定の目的	第4章 保存活用の現状と課題	第7章 活用
1-1 計画策定の背景と目的	4-1 保存管理の現状と課題	7-1 活用の方法
1-2 計画の対象地	4-2 活用の現状と課題	(1) 学校教育の方法
1-3 計画の位置づけと構成	4-3 整備の現状と課題	(2) 社会教育の方法
(1) 計画の位置づけ	4-4 運営体制の現状と課題	(3) 地域での活用の方法
(2) 計画の構成	第5章 保存活用の基本方針	第8章 整備
1-4 委員会等の設置と経緯	5-1 基本理念	8-1 整備の方法
(1) 委員会の設置と経緯	5-2 基本方針	(1) 保存整備の方法
(2) 庁内検討会議の設置と経緯	(1) 保存管理の基本方針	(2) 活用整備の方法
(3) 住民等との検討経緯	(2) 活用の基本方針	第9章 運営体制
第2章 史跡及び添田町の概要	(3) 整備の基本方針	9-1 運営体制の方法
2-1 指定に至る経緯	(4) 運営体制の基本方針	第10章 今後の取組み
2-2 史跡指定の概要	第6章 保存管理	10-1 今後の取組みの実施について
2-3 添田町及び英彦山の現況	6-1 保存管理の方法	10-2 経過観察
第3章 英彦山の価値と構成要素	6-2 保存管理の地区区分と現状変更の取扱方針及び取扱基準	
3-1 英彦山の価値	6-3 史跡指定地外の周辺環境を構成する要素の保存管理	
3-2 英彦山の価値を構成する要素	6-4 史跡追加指定、公有化の考え方	

評価軸④-8

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
国指定重要文化財 中島家住宅の工事見学会の開催		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	本町内外の人々の文化財に対する認識が低下していることから、より多くの人々に文化財の存在を知ってもらい、理解してもらう機会を提供する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
現在、保存修理工事を実施している「国指定重要文化財 中島家住宅」において、修理方法などの解説のほか、普段は見ることのできない骨組み(小屋組み)や屋根瓦を外した様子などの工事見学会を平成29年9月30日に開催した。当日は、見学会を4回実施し、計89名(町内:37名、町外:52名)が参加した。好評であったことから来年度以降も継続実施する予定である。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



国指定重要文化財 中島家住宅 工事見学会の様子

評価軸④-9

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度
地域住民による国指定重要文化財 中島家住宅の庭園草刈り業務		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 町内外の人々を対象として実施する普及・啓発は、案内板等の設置やパンフレット等の作成・配布とともに、添田町観光ガイドボランティア等によるガイド活動やイベントの開催等により、広く普及・啓発を図る。

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

重要文化財である「中島家住宅」と相まって厳かな雰囲気醸し出している広大な庭園について、『まちづくり団体設立支援事業』により設立した「重文・中島家住宅推進協議会」役員が中心となり、地域住民とともに草刈り作業を3回（7月・9月・12月）実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



草刈り前



草刈り作業風景



草刈り後



刈り取られた雑草

評価軸⑤

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
まちづくり講演会	H29.6.25(27,29)	西日本新聞、朝日新聞、読売新聞、毎日新聞
熊谷真実さん観光大使へ	H29.5.27(26)	西日本新聞、朝日新聞、読売新聞、毎日新聞
地域に受け継がれる伝統芸能	H29.6.7	町広報誌

定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致関連事業の報道のみならず、観光部局と連動し情報発信力を強化するとともに県外の新聞社からも重点区域である「英彦山」を取り上げた記事が掲載され、歴史文化を広くPRすることができた。  
 また、H29年4月に国指定重要無形文化財に指定された津野神楽を中心とした伝統芸能特集や、連載企画「歴まちコラム～歴史と文化のふる里探訪～」等、町広報誌でも数多くの歴史文化を紹介した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
<input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等



特集「地域に受け継がれる伝統芸能」(町広報6月号より抜粋)

「歴まちコラム～歴史と文化のふる里探訪～」と題して町内の歴史文化を分かりやすく連載 (町広報H29年4・6・8・10・12月号、H30年2月号より抜粋)

清盛が築き、秀吉が攻め、歴史の舞台となった名城

自然と歴史・文化のまちづくりを目指して

お薬師さんをお守りす 十二支を冠る神様たち

造り酒屋と酒蔵も焼失 江戸時代の英彦山の火事

英彦山を駆けめぐれる動乱

網吉と英彦山の歴史

町内各地の歴史文化を巡る探訪記事の抜粋。各記事には写真やイラストが添えられている。

評価軸⑥  
その他(効果等)

項目		評価対象年度	平成29年度
普及啓発イベント事業			
計画に記載している内容	重点区域内に分布する文化財の普及・啓発に係る取り組みを推進することは、歴史的風致を維持向上させる上でも重要であり、そのため、町民内外の方へ普及啓発イベントを実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
重点区域の一つである英彦山地区に残る文化財を九州歴史資料館にて展示し県内を中心とした方々に広くPRし、約8,000人の来場があった。 また、関連イベントとして本町にて英彦山に係わる講座を2回開催し、計43名の参加があった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし			

状況を示す写真や資料等



名称：「特別展 霊峰英彦山 ―神仏と人と自然―」  
 会期：平成29年8月5日～9月24日  
 会場：九州歴史資料館(福岡県小郡市三沢5208-3)  
 主催：九州歴史資料館  
 共催：英彦山神宮・添田町・添田町教育委員会  
 来場者数：約8,000人



演題：「英彦山の御正体」  
 日時：平成29年8月11日 13時30分～15時30分  
 講師：井形進氏(九州歴史資料館 学芸員)  
 会場：オークホール 研修室1  
 参加者：13名



演題：「英彦山の歴史」  
 日時：平成29年9月3日 13時30分～15時30分  
 講師：松川博一氏(九州歴史資料館 学芸員)  
 会場：オークホール 研修室1  
 参加者：30名

## 法定協議会等におけるコメント

評価対象年度

平成29年度

### ・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称: 添田町歴史的風致維持向上計画推進協議会

会議等の開催日時: 平成30年3月22日(木)午後1時30分から午後15時52分まで

#### (コメントの概要)

歴史的活動を守るためには、そこに住む住民の意識が大切であるが、それと同時に外部に情報発信をすることも大切である。また、多言語化についても検討していく必要がある。

眺望広場整備事業について、事業実施有無を含めて検討するとのことであったが、この事業を実施しないとした場合の本計画への影響等は検討したか？大きな変更であるため、影響を及ぼす恐れがあるのではないかと。

中島家住宅の修理完成図や活用案などを示し、復原修理の意義を中島家に関わる他の施策とも連携し、広く周知するような工夫が必要である。

中島家住宅についてまちづくり団体も結成され、地域の大事な文化遺産として伝えていく目途がたつたと思われる。そのため計画ありきではなく、地域と歴史遺産の幸福な関係を、保存修理の工程の中で醸成していくことが重要である。

まちづくり団体設立支援事業により発足した「英彦山門前町同好会」が作成したマップは、現地に即しており、英彦山の歴史・文化に大変有効である。掲示用に止めず縮小印刷して一般登山者にも配布されることが望ましい。

英彦山神宮参道保存整備・修景整備事業について、しっかりと進めていただきたい。かつての参道のにぎわいが新しい形で戻ってくるとよいと思う。そのためには、ハード整備に加えてソフト部分での参道の在り方についての検討が必要となる。

#### (今後の対応方針)

眺望広場整備事業を実施しないとした場合の計画やその他の施策への影響については、H30年度以降に検討することとしている。

事業間連携や、広報活動に関しては今後も継続的に実施し、内容についても多言語化を含め常にブラッシュアップさせ効果的なものとさせる。

「英彦山門前町同好会」作成のマップに関しては、H30年度以降もまちづくり団体育成支援事業にて支援を継続することとしているが、実施事業やマップの増版に関しては、同好会の意向によることもあるため、今後も連携・支援を継続し効果的なものとなるよう実施していきたい。また、参道の整備を実施するにあたり、同好会をはじめとした地域内での機運の醸成も図り、活性化、そしてかつての参道のにぎわいへと繋がるよう事業を推進していく。